

# パトリステイカ

—教父研究—

第14号

2010年

## 目次

巻頭言……………	桑原 直己	2
【論文】		
神的エネルゲイアの経験と信		
—ロゴス・キリストを信じるとは、いかなることか—	谷 隆一郎	6
三九〇年代におけるアウグステイヌスにとってのパウロ		
—『告白録』の骨格形成に寄せて—	出村 和彦	25
救済された理性		
—サン・ヴィクトール学派の聖書神学と観想論—	中村 秀樹	43
アウグステイヌス『三位一体論』における実体の相互内在の問題	横田 蔵人	67
—中世哲学の視点から—		
【研究ノート】		
アウグステイヌス『音楽論』第六卷における魂の鍛錬……………	北川 恵	85
擬ディオニュシオスのキリスト論		
—「神人的な働き」Θεωδουκη ενέργειαを巡って—	袴田 涉	107
神の光を見ることをめぐって		
—グレゴリオス・パラマスの擬ディオニュシオス理解—	袴田 玲	128
教父研究会活動報告……………		
編集後記……………		
『パトリステイカ』既刊号目次……………		

(1) 153 152 128